

# 月刊 天真

## 3月号

発行日 2025(令和7)年3月1日  
 発行者 浄土真宗本願寺派天真寺  
 住職 西原恵照  
 第576号

天真寺春彼岸法要  
 3月20日(春分の日) 午後1時半

シリーズ  
 仏教語豆辞典  
 第18回

### 堪忍 (かんにん)



日常的に使っている言葉には、仏教の言葉から生まれた「仏教語」がたくさんあります。由来をたどってみると、その言葉の理解が深まったり、本来の意味との変化に驚いたり、とても興味深いです。  
 なじみのある言葉を、仏教とのつながりからみてみましょう。

#### 堪忍

徳川家康の『人生訓』の一つに「堪忍は無事長久の基」とあります。

「ならぬ堪忍するが堪忍」

「堪忍袋の緒が切れた」

「堪忍してください」と、堪忍は、堪え忍ぶこと、我慢すること、怒りをこらえて他人の過失を許すことを意味する言葉です。

私たちの世界は、苦しみや悩みが満ちていて、人は堪え忍んで悪をなし、菩薩は教化のために堪え忍んで苦勞しておられるので、現実の世界を、堪え忍ぶ世界という意味の「堪忍世界」とか「堪忍土」といいます。

また、堪え忍ぶという意味のサンスクリット語「サハー」から、娑婆世界とも呼んでいます。

菩薩の十地(菩薩の修行の位を十の段階に分けたもの)の第一は「堪忍地」で、菩薩がこの位に達すれば苦惱をよく堪え忍ぶといえます。

このように、堪忍は仏典にしばしば登場します。

最近では、何事につけても、すぐにカーッとなくなって「キレる」人が多いようですが、心を大きくもって、グッとこらえましょう。「堪忍は一生の宝」といいますからね。

(辻本敬順著『くらしの仏教語豆事典』(本願寺出版社)より転載)



### 今月の予定

2025年 3月

日	月	火	水	木	金	土
						1 10:00納骨堂合同参拝
2 7:00日曜礼拝 ●	3	4	5	6	7	8 13:30グランドゴルフ
9 7:00日曜礼拝 ●	10	11	12	13	14	15
16 7:00日曜礼拝 ●	17	18	19	20 10:30やすらぎ堂春彼岸法要(大町やすらぎパーク) 13:30春彼岸法要(天真寺) ●	21	22 13:30グランドゴルフ
23 7:00日曜礼拝 ●	24	25	26	27	28	29
30 7:00日曜礼拝 ●	31					<4月の予定> 20日(日) 法話会

● 印がついている行事はオンライン配信します。天真寺HP、またはこちらから→<http://www.koumyou.net/tenshin>

### 天ちゃんの一言

- 春彼岸には彼岸の仏さまから、此岸の私へとかけられる願いを聞きましよう  
 春彼岸を迎えます。この期間には先立たれた方々に思いを寄せ、阿弥陀さまの世界であるお浄土「彼岸」から私たちを見守ってくださっていることに感謝をして手を合わせます。私たちはこの堪忍世界「此岸」がすべてではない、もっと豊かな世界に生かされていることに気づかせてくれる大切な仏教行事です。  
 ※ 法要当日、役員さんは12時半にご集合くださるようお願いいたします。
- 現在「大町やすらぎパーク」に数区空きがあります。ご希望の方はお寺までご相談ください
- 「天真寺門信徒会」 仏さまのお話を聞き、お念仏申す豊かな人生をともに歩みましょう  
 毎月寺報と仏教冊子を送付し、法要や法話会のご案内をしています。お寺の行事はすべて参加自由です。仏さまのみ教を聞いて、確かな人生の拠りどころを見つけませんか。  
 年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186
- 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています  
 「住職の独り言」 [blog.goo.ne.jp/ranman\\_kn](http://blog.goo.ne.jp/ranman_kn) (住職のブログ)  
 「天真寺通信」 [tenshin.or.jp/](http://tenshin.or.jp/) (副住職のブログ)

入会随時募集  
**門信徒会**  
 に入りませんか



### お寺の掲示板の言葉

赤鬼青鬼 どこに居る  
 我が心の内に住む  
 赤鬼は欲の心  
 青鬼は怒りの心



浄土真宗  
 本願寺派

# 天真寺

〒270-2251  
 千葉県松戸市金ヶ作106  
 TEL 047-389-0808  
 FAX 047-389-0809  
[www.tenshin.or.jp](http://www.tenshin.or.jp)





## 春彼岸法要

「ホーホケキョ」は「法を聞けよ」のおよび声



【日時】 3月20日 (春分の日・木) 午後1時半(受付1時)

なかむら けいじょう

【講師】 中村 啓誠師 (広島市光乗寺)

仏さまのお話をやさしく説いてくださいます。3年連続のご登壇です、どうぞお楽しみに。



【場所】 天真寺本堂 (椅子席)

どなたさまもご自由にお参りください(申込等不要)。ご講師も交えた茶話会も開催します。

★ ライブ配信あり、オンラインでも参加可能です

<http://www.koumyou.net/tenshin>天真寺のHP([tenshin.or.jp](http://tenshin.or.jp))からも簡単に見られますオンライン参加  
はこちらの  
QRコードから

## やすらぎ堂 春彼岸法要



■日時 3月20日(春分の日・木) 午前10時半～11時

■場所 大町やすらぎパーク内 やすらぎ堂前  
(松戸市串崎新田170-3 北総線大町駅徒歩3分)天真寺の永代合葬墓「やすらぎ堂」の春彼岸法要です。  
どなたさまもお参りいただけますので、ぜひお気軽にご参加ください

(☆右ページからの続き→)

(エ) 仏はそのような「煩惱具足の凡夫」の自覚がない人を「悪人」と呼び、それ以外の衆生をすべて救うとおっしゃっている。

確固たる信仰を持たない学生が宗教者も信仰に不安や疑問を持つことを知って宗教を身近に感じられたという内容で、『歎異抄』第九条が取り上げられています。これは30代の弟子唯円房が50歳年の離れた80代の親鸞聖人に、「念仏をしても躍り上がるような喜びも浄土に速く行きたいという思いもわからない」とその悩みを意を決して尋ねる場面です。

正解は(イ)ですが、一般的な仏教のイメージから答えると(ア)と間違えそうです。煩惱具足であっても煩惱を振り払って自力の念仏を称えれば、仏さまに近づくことができるという考えです。

しかし、親鸞聖人はご自身の心に真正面から向き合われ、人間にはいくら努力して除こうとしても除くことができない煩惱があることに直面されます。



親鸞聖人の人生は、まさに鏡の前に立ち続けた人生であったと言われます。



「煩惱具足」という言葉は、「私は煩惱具足だから」と、私が自分のすがたを見た世界で、自分で自分を貶めるための言葉ではありません。私の本性をのぞけば、そうは言っても自分が一番かわいいという思いが潜んでいます。「煩惱具足」とは、仏さまが私のあり方を教えてくださる言葉です。必死で握りしめようとするものは指の間からこぼれ落ち、苦悩の渦に飲み込まれながら生きているのが私たち人間のすがたです。

親鸞聖人は、仏さまがこの煩惱まみれのいのちを救わずにはおれないと願いをたててくださいました。この私一人のためであったとその慈悲をいただかれました。私の罪深さを知ってこそ、お慈悲の深さは一層味わわれます。仏さまのみ光に照らされ、お念仏申しつつ報恩謝徳の生活を営む歩みこそ、浄土真宗の仏道です。

(浄土真宗本願寺派千葉組HP掲載原稿)

## 一口法話

大学試験に出た『歎異抄』の言葉



副住職 西原 龍哉

2025年大学入学共通テストの「公共、倫理」の科目で、宗教に関していくつかの問題が出題されました。例として一つご紹介しますので、一緒に考えてみませんか。



【問】

大乘仏教の思想の説明として適当なものを全て選んだとき、その組合せとして正しいものを一つ選べ。

【選択肢】

(ア) あらゆる物事は縁起しており、無自性であり、したがって空であることは、大乘仏教に特徴的な思想である。こうした考え方の原型は、ゴータマの教えの中にすでにあり、諸法無我などの思想に含まれている。

(イ) 悟りを求める衆生は、「菩薩」と呼ばれる。様々な菩薩が活躍するのが、大乘経典の特徴の一つである。代表的な大乘経典として、出家した菩薩が送る生活を理想化して描いた『維摩経』がある。

(ウ) 無着(アサンガ)や世親(ヴァスバンドゥ)は、あらゆる物事は心が生み出したものであることを、識のみがあるという唯識の考え方をを用いて説明した。この教説は玄奘によって中国に伝え直された。

(エ) 『般若経』では主として、すべての衆生がブッダになる可能性を有しているという仏性の考え方を説いている。竜樹(ナーガールジュナ)が整理したこの考え方は、鑑真によって日本にもたらされた。



ふ～選択肢を読むだけでも大変です。。。そして正解は、(ア)(ウ)の二つが正しいとする選択肢です。ちなみに答え合わせをすると、(イ)『維摩経』は、出家した菩薩が送る生活ではなく、在家生活を送る維摩居士の生活が描かれた経典なので間違い。(エ)鑑真は『般若経』ではなく「戒律」を日本にもたらした、が間違いとなります。これはなかなか難問ですね。

興味深かったのは、問題に『歎異抄』が取り上げられていたことです。生徒が倫理の授業で発表をする形式となっていて、空欄に入る適切な答えを選びます。



【問】

高校生Dは、倫理の授業で発表を行った。次の発表中の空欄(A)に入る記述として最も適当なものを選び。

発表…「これを信じています」と言えるような信仰対象をもたない私は、存在するのかわからない神仏の教えをなぜ信じられるのか、不思議でした。

いろいろ調べているうちに、親鸞についてのあるエピソードにたどり着きました。弟子が、「念仏をすれば誰でも往生できると阿弥陀仏は約束なさったのだから、念仏したときに躍り上がって喜んでよいはずなのにそうはならず、速やかに浄土に行きたいという心も起きません。これはどういうわけなのでしょう」と質問したとき、親鸞は、「私もあなたと同じで、念仏しても喜びが生じない、喜ぶべきことを喜べないのは煩惱のしわざであるが、(A)。だからこそ往生は確実だと思えるのだ」というようなことを答えたそうです。

宗教者も自分の信仰に不安や疑問をもつことがあると知って、宗教が少し身近に感じられました。



【選択肢】

(ア) そのような「煩惱具足の凡夫」にも仏性は備わっているものであり、それを開花させるための自力の行として念仏がある。

(イ) 仏は人間がそのような「煩惱具足の凡夫」であることをよくご存じで、そういう人間を救おうという願を立てられた。

(ウ) そのような「煩惱具足の凡夫」でも、他者に救いの手を差し伸べることで自分も往生できる道を、仏は用意してくださっている。

(☆左のページに続く→)